



管内は吉備ケーブルテレビ、成羽地域局管内はなりわいビジョンとなっているが、未整備の川上・備中地域局管内は今後どうなるのか。

(玉川、松原、高倉、備中倉)

答

旧高梁市が進めてきた吉備ケーブルテレビは、民間であり、たきさんのチャンネルが見えるようにするのが目的で、コマシヤルやNHK衛星放送も含まれています。

旧成羽町のなりわいビジョンは、行政からの情報発信が目的で紙の広報では分かりにくいものを映像で伝えていこうという目的で農林水産省の事業で整備しました。緊急の場合の放送や学校の臨時休校など、また、農事放送も流しています。

未整備地区の川上・備中地域局管内についてはどちらの方式がよいのかを含めて十分に検討する必要があります。

答

落合町阿部、国道313号の渋滞についてどう思われているのか。(高梁、玉川、落合)

国道313号阿部地区の渋滞解消とし



朝の通勤ラッシュで渋滞する国道313号(落合町阿部地内)

道改良は20年度で完了したいと考えています。また、将来的には成羽川沿いの市道改良も計画し、バイパス的な道路として整備していきたいと考えています。

答

過疎の一番大きな理由は農林業の衰退ではないでしょうか。歯止めをかけるには、なるべく現状維持を続けていかなければなりません。商業の発展にも、農部の購買力が必要です。

収入が1千万円を超えるような農家を増やしていきたいですね。そのために後継者や新規就農の条件を考えていかなければなりません。本当に定住してくれるのが重要です。

また現在、本市特産ピオーネの販路拡大のため、市場を東京に求めているところです。

観光行政を、高梁駅の改築も含めて考えてほしい。(高梁、津川、松原、成羽)

答

市の観光地は各地に点在しているため、市内の観光地を巡るバスを検討しているところです。観光地の良さをどうアピールするか考えていかななくてはなりません。

また、市として、高梁駅の

産業振興、観光行政

旧1市4町で農業振興策が行われてきたが、新市ではどうなるのか。(中井、玉川、宇治、成羽)

て、歩道の整備、交差点の3車線化、落合橋の改良事業を県事業で順次実施しているところですが、また、玉川橋から神崎地区を通って落合町阿部に抜ける玉川落合線の整備を行っており、神崎橋の上流にもう一つ橋を架ける予定で事業計画をしています。この市



下校する児童を見守る保護者

東西を含めて考えていき、駅のバリアフリー化もされていないので今後整備していく必要があります。

新市の財政とまちづくり

財政見直しはどうか。
国の交付税の見直しという
考えについての見解は。

(高梁、玉川)

答

税金は一部企業に回復が見られますが、依然として厳しい状況となっています。合併に際して影響があるのは、地方交付税と市債。国は、地方交付税を減額しているという方向ですが、減らされないように、また有利な市債(市の借金)が借りられるように要望等に努めていきます。

合併特例債・地域振興基金はどのようなものか。

また、各地域局単位

のまちづくり協議会への地域振興基金活用について。(高梁、川面、中井、玉川、落合、有漢)

答

合併特例債は、合併による地域の一体化を進めるための道路改良や学校改築、新庁舎の建設などに使うもので、10年間で180億円の枠があります。市全体の借金の状況を見ながら有効に活用したいと考えています。

地域振興基金は、合併する前の自治体の特色をそれぞれ残していくために活用するものです。算出の基礎として、本市の場合5市町による合併なので15億円を基礎として、最高で27億9千万円の枠があります。用途は、旧自治体が行っていた事業などを含めて今後のまちづくりを支援していくためのもので、今年度から来年度にかけて、それぞれのまちづくり協議会で検討をいただきます。皆さんの知恵を出してください。

教育・文化

学校等での子ども
の安全の確保をお願いしたい。(川面)

答

学校を完全に塀で囲っても完璧に不審者などの侵入を防ぐことは難しいといえます。それぞれの学校の状況に合わせてできること(外来者を見かけたら声かけ、登下校時のパトロール等)はしようとして学校、PTA、警察とも連携しているところです。地域の皆さんにもご協力いただけるようお願いいたします。

新しい図書館の計画は?いつ頃、どのような、どの程度になるのか。(高梁)

答

本年度プランづくりに入ります。市民の皆さんの要望の多い本や、学園文化都市にふさわしい専門書なども揃えたいと思っています。小さい子の部門、小中学生の部門、高校生・大学生の部門、一般の部門などブロックごとに分け、場所についても利便性を考慮し、今の図書館にはないバリアフリーにしていかなければなりません。早急に取りかかりたいと思います。着手は3年先ぐらいになる見通しです。



現在の高梁中央図書館